

## 授業科目

## 解剖学II

担当教員名 澤田 純明	対象学年	1	対象学科	理学・作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	○	

## 授業の概要

循環器系（心臓血管系とリンパ系）、内臓系（消化器系、呼吸器系、内分泌系、尿生殖器系）、および感覚器系について、それぞれを構成する器官の形態と構造を学習する。本講義は、解剖学I（運動器系）・III（神経系）の講義および解剖学実習I・IIと強く関連しており、これらの講義・実習における授業内容を会得することで、人体の基本構造を総合的に理解できるように設計されている。

## 授業の目的

循環器系・消化器系・呼吸器系・内分泌系・泌尿生殖器系・感覚器系について、各器官の形態と構造を理解し、理学療法士に必要とされる解剖学基礎知識を習得することを目的とする。

## 学習目標

1. 心臓・動脈・静脈・リンパ系の諸器官について、形態的特徴と構造、全身の分布、他の器官系との関連を理解する。
2. 消化管（口腔、咽頭、食道、胃、腸）と消化腺（唾液腺、肝臓、膵臓）の形態と構造を理解する。
3. 気道を構成する鼻腔・咽頭・喉頭・気管・気管支と、ガス交換に関与する肺の構造を理解する。
4. 内分泌系の各器官の位置と名称、および分泌されるホルモンの種類と作用を理解する。
5. 尿生殖器を構成する各器官の形態、構造、位置を理解する。
6. 特殊感覚器官の形態と構造を、それぞれの感覚機能および神経支配と関連づけて理解する。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	解剖学総論	講義	澤田 純明
2	循環器系1：各論（心臓1）	講義	澤田 純明
3	循環器系2：各論（心臓2）	講義	澤田 純明
4	循環器系3：各論（動脈）	講義	澤田 純明
5	循環器系4：各論（静脈、リンパ系）	講義	澤田 純明
6	消化器系1：総論、各論（口腔、咽頭、食道）	講義	澤田 純明
7	消化器系2：各論（胃、小腸、大腸）	講義	澤田 純明
8	消化器系3：各論（肝臓、膵臓、腹膜）	講義	澤田 純明
9	呼吸器系1：総論、各論（鼻腔、咽頭、喉頭）	講義	澤田 純明
10	呼吸器系2：各論（気管、気管支、肺）	講義	澤田 純明
11	内分泌系	講義	澤田 純明
12	泌尿器系	講義	澤田 純明
13	生殖器系、人体の発生	講義	澤田 純明
14	感覚器系1：総論、各論（嗅覚器、視覚器）	講義	澤田 純明
15	感覚器系2：各論（平衡聴覚器、味覚器）、皮膚系	講義	澤田 純明

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第4版	野村 巖	医学書院	2015年	6,000円＋税	
参考書						
その他の資料	授業プリントの配布					

## 評価方法

期末試験（100点満点）により成績を評価する。

#### **履修上の留意点**

予習と（特に）復習が重要となる。

#### **オフィスアワー・連絡先**

オフィスアワー

月曜12:00~14:00、火・水・木曜12:10~13:10

連絡先

澤田純明 研究室 GA401 メール [junmei-sawada@nuhw.ac.jp](mailto:junmei-sawada@nuhw.ac.jp)